

令和8年5月8日  
大阪公立大学医学部附属病院

## 輸血投与後の中心静脈カテーテルにヘパリンロックを行わなかった ため閉塞し、カテーテルの入れ替えを行った事例について

当院において、中心静脈カテーテルからの輸血投与終了時にヘパリンロック（ルート閉塞を防ぐための操作）を行わなかったため中心静脈カテーテルの3つの投与ルートのうち1つが閉塞しました。その結果、中心静脈カテーテルの入れ替えを行う事例が発生いたしましたので、ご報告いたします。

この事例におきまして、速やかに医療安全に関する会議を開催し、検討を行いました。その結果、ルート使用後はヘパリンロックが行えているか確認すること、勤務開始時・終了時は全てのルートに異常が無いかを確認することで、再発防止に取り組んで参ります。

患者さん、ご家族の方をはじめ、関係者の皆様には、今回このような事態を招いたことを深くお詫び申し上げますとともに、今後の再発防止に努めて参ります。